

・施設マネジメント全般にわたる特徴的な取組事例

◆ 毎年度テーマを決めて各種プロジェクトを実施

毎年度、プロジェクトを実施することによって、施設マネジメントの取組が着実に進められている。

取組のポイント プロジェクトは、年度末に報告書を作成する。その際、プロジェクトに関わった職員名を全て掲載している。これにより、施設職員のモチベーションの向上が図られている。

1. 施設カルテプロジェクト



- ◆ 学内LANにて、施設関係情報を集約・公開。
- ◆ 掲載されている施設情報は、建物の基本データ、図面、修繕履歴、スペースの利用状況、施設の現況写真、各種報告書等。
- ◆ 汎用ソフト(エクセル)で構成されているので、操作方法を覚える必要がなく、使いやすい。

【学内LANに公開したことによるメリット】

- 学生教職員に対する施設業務の周知
- 学内教職員に対する資料提供の手間の省略
- 施設担当職員の資料管理の効率化



① トップページ



団地の画像をクリック



② 団地配置図

建物をクリック

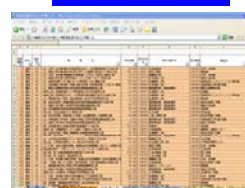
③ 建物概要データ



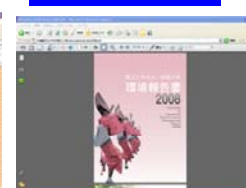
図面データ



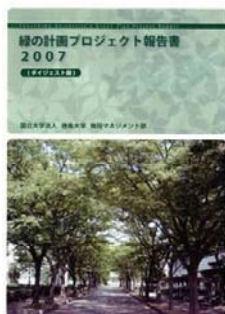
修繕履歴



各種報告書



2. 緑の計画プロジェクト



- ◆ キャンパス内の樹木等の状況を全て把握し、今後の維持管理やキャンパスの緑化計画の指標となる資料を作成。
- ◆ 樹木等の育成状況を施設担当職員が現地調査し、樹木のデータ(種類、寸法、配置等)と現況写真をとりまとめ、現況の考察が行われている。

3. バリアフリープロジェクト



- ◆ バリアフリーに関する現状調査を行い、その実情を把握するとともに、今後の改修計画の指標となる資料を作成。
- ◆ バリアフリーマップと調査報告書は、学内LANから閲覧できる。
- ◆ バリアフリーマップには、エレベーターやトイレ、スロープ等の身障者対応設備の設置状況が表示されている。

4. エコプロジェクト

(平成21年度プロジェクト)



各手法の概要

各手法ごとに試算

1. 採用の可否
2. CO2削減予想量
3. 光熱費削減予想量
4. イニシャルコスト

試算データ集計表

手法	採用可否	CO2削減予想量	光熱費削減予想量	イニシャルコスト
1. 太陽光発電	○	1,234,567	12,345,678	1,234,567
2. 省エネ照明	○	123,456	1,234,567	123,456
3. 断熱材	○	12,345	123,456	12,345
4. 省エネ空調	○	1,234	12,345	1,234
5. 省エネ給湯	○	123	1,234	123
6. 省エネ給水	○	12	123	12
7. 省エネ排水	○	1	12	1
8. 省エネ廃棄物	○	1	1	1
9. 省エネその他	○	1	1	1
10. 省エネ合計	○	1,381,512	13,815,123	1,381,512

◆ 学生、教職員共同での施設整備を推進

キャンパスの将来計画案を考案するグループに、学生や教員を取り込み、魅力あるキャンパス計画を目指している。

取組のポイント 学生の意見を反映させるためのアンケートや、学生主体の実験を経て作成されたプランで現在整備が進められており、また更なる計画の検討も進められている。



Tokudai Openspace Project



TOPとは…

定三島地区の学生、教員、事務職員と空間設計の専門家で構成される、東三島キャンパスの将来計画案を考案するグループです。
東三島キャンパスでは、建物の高層棟が通っていますが、自転車道の敷設、自転車・自転車・人の移動、緑地環境、緑地活動施設・遊歩道の確保といった課題が起きている。また、「大学の顔」となる場所がないことや「学生が居ない、動かない」状況は、内外の人々に「魅力のない大学」といった印象を与えています。
TOPではこうした課題を整理し、東三島キャンパスを魅力あるキャンパスにするための提案作りをしています。

2007年度までの活動

現状の空間認識と課題の整理、また、他大学の整備事例や他大学の歴史資料を集め、キャンパスの外部空間を魅力あるものにするための様々な提案をしました。（詳しくは右のページの活動年表参照）

2008年度の活動

- 2007年度に提案したプランに対するアンケート調査
- シンボルストリート案の検討
- シンボルストリート案の社会実験
- シンボルストリート案の提案

詳しくは中巻をご覧ください

検討中のキャンパスプラン

新しい玄関

大学の顔となるような新しい玄関を、キャンパス西側の敷地内に設けることを検討しています。シンボルストリートにつながる玄関につくると、門前広場の広さが増え、学生が居る場所が広がることも期待されています。

駐輪場計画

現在、自転車道が敷設されているが、駐輪場の確保が課題です。キャンパスの西側に、自転車道と一体的に駐輪場を確保することを検討しています。また、自転車道と一体的に駐輪場を確保することにより、学生が居る場所が広がることも期待されています。



助任の丘

キャンパスを囲んでいる丘陵地帯に、学生が居る場所を確保することを検討しています。また、丘陵地帯に学生が居る場所を確保することにより、学生が居る場所が広がることも期待されています。

駐車場計画

キャンパス内に点在している駐車場の整理、道路の拡充、自転車道と一体的に駐車場を確保することを検討しています。また、自転車道と一体的に駐車場を確保することにより、学生が居る場所が広がることも期待されています。

TOPでは、一連に活動してきて学生主体の活動です。キャンパスの西側に、学生が居る場所を確保することを検討しています。また、学生が居る場所を確保することにより、学生が居る場所が広がることも期待されています。



徳島大学シンボルストリート（仮称）完成

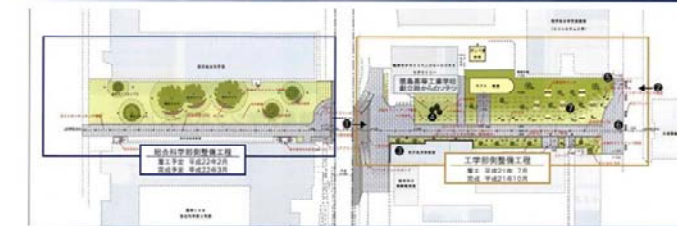


シンボルストリート（仮称）

徳島大学創立 60 周年記念事業
事業デザイン：TOP (Tokudai Openspace Project)



シンボルストリート案（仮称）
TOP は、より多くの人々がキャンパスに居ることを目指しています。特に、学生が居る場所を確保することを検討しています。また、学生が居る場所を確保することにより、学生が居る場所が広がることも期待されています。



◆ 施設マネジメントに関するQ&Aを作成

施設マネジメント部の業務をQ&A形式でまとめた冊子を作成し、毎年度更新している。

取組のポイント

学内に対しての業務の説明資料であるが、これを毎年作成することによって学内からの理解を得られているとともに、施設担当職員の業務理解が深まり、研修効果が顕れていることも大きな成果となっている。



本報告書の作成にあたって意見を聴取した有識者

(５０音順 敬称略)

植木 暁司 財団法人建築保全センター保全技術研究所第一研究部長

酒井 伸一 国立大学法人京都大学環境保全センター教授

並河 宏明 国立大学法人京都大学施設環境部長

平井 明成 国立大学法人東京大学本部統括長（施設・資産系）

水田 健輔 独立行政法人国立大学財務・経営センター教授

(平成２２年３月４日現在)

各国立大学法人等におかれましては、施設マネジメントを検討する際に、本報告書を参考としてご使用下さい。

本報告書は複写によりご利用いただけます。

なお、お問い合わせは、担当までお願いいたします。

(担当)

文部科学省大臣官房文教施設企画部参事官（技術担当） 付

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

TEL：03-5253-4111 （内線 2550）

FAX：03-6734-3695